

## パンデミックに直面も回復力あるタイ医療セクター

タイの COVID-19 パンデミックに対する対応は、世界で最も成功した例の一つであろう。非常に少ない感染数と致死率で世界保健機関、国連、そして世界中の専門家達から賞賛された。世界 COVID-19 回復指数はウイルスとの戦いの有効性において一貫してタイを 184 か国中で上位 5 か国にランク付け同国の医療インフラの回復力を強調。

この事は東南アジアで 2 番目に大きな経済国の医療部門を良くご存知の諸氏には特に驚くような事ではないであろう。同国は卓越したコストパフォーマンスと世界クラスの医療施設とその従業員を基盤に世界有数の医療観光の目的地としての評判を築いてきた。世界的疫病大流行は医療観光に影響を与えたが、タイのヘルスケアの革新を止める事は出来ない。

### 回復力のあるイノベーションと投資

同国は、全ての人々に質のより良い生活を提供するダイナミックで高価値で持続可能な経済をとという政府推進のタイランド 4.0 のコンセプトに沿って、医療技術とサービスへの投資において益々重要な目的地になりつつある。

医療部門への投資を加速するべく今年さまざまな措置を導入したタイ投資委員会 (BOI) によれば、2020 年上半期には 50 件以上、総額 4 億ドルのプロジェクトへの投資の申請が提出された。グローバル投資家および国内投資家からのこれらアプリケーションは、主に COVID-19 への迅速な対応をサポートするための医療機器とサプライ品の製造のためのものであり、

**我々は医療機器およびにサプライ品の製造ハブとしてのタイの長期的な発展への道を開くと同時に状況に対応するためにプロジェクトの 80%以上を承認した**

と BOI 事務局長の Duangjai Asawachintachit 氏は述べた。

COVID-19 との戦いは、同国の既に進んでいる医療インフラへの投資家の関心を強める一方である。タイには最先端の研究所と医療機器の製造に加え、医療施設基準の世界的な認定機関である Joint Commission International (JCI) によって認定された 60 施設以上の病院と 60,000 人以上の免許保有医師がいる。

タイは、2020年7月末以降、医療観光の再開に向けて段階的な措置を講じており、限られた数の人々が治療のために入国できるようにしている。抗感染対策として医療観光では治療目的者に同行できるのは最高で3人まで、加えて出発の72時間以内に発行されたCOVID-19の陰性検査証明、タイ入国後再度検査、14日間の病院検疫などの厳格なプロトコルが実施されている。

## 医療のデジタル化

バンコクのバムルンラード国際病院は現在海外の患者を受け入れる事を許可されている施設の一つだ。このJCI認定の病院は2019年末に遠隔医療相談を開始し、パンデミックにより患者が医師を訪問する事を益々困難になった2020年3月にBumrungrad@Homeサービスでその提供サービスを拡大した。

「患者へのケアは病院においてだけではない。患者にとっての主なメリットは、より便利なかたちで病院で提供される継続的な標準治療を受けられる事だ。病院まで足を運ばずに医師と面談ができたりラボでのテストを受ける事ができたり、治療を受けたりそのたの色々なサービスにアクセス可能なのだ、とバムルンラードの最高経営責任者である」とArtirat Charukitpipat女史は説明している。

「患者中心のデザインで、技術に不慣れな高齢者でも使いやすいサービスだ」とCharukitpipat氏は付け加えた。

タイの患者だけでなく、アジア、中東、米国の患者も利用している。バムルンラードは、パンデミック終息後も遠隔医療サービスを拡大し、最新の技術と治療法を採用して、患者がどこにいても患者に対し最高のケアを提供できるよう計画している。

パンデミックはすでに動き出したシフトを加速させており、2018年にアヌチャパノイ博士とカニカジャンパファン氏および医学で数十年の経験を持つティーラユットユヌン氏によって立ち上げられた医療技術のスタートアップ企業であるドクターAtoZ同社のバーチャルケアプラットフォームの需要が日に日に増えているのを目の当たりにしている。

そのモバイルアプリを通じて、患者はどこからでも専門の医師とシームレスにつながり、癌、胃腸の問題、整形外科、歯科、メンタルヘルス、リハビリテーションそしてその他の多くの病気の症状に関する相談を受けることができる。

オンライン医療支援としてこのプラットフォーム機能は患者と医療専門家の間の情報交換を容易にする。そしてタイ語または英語のワンストップエコシステムを介して薬局、病院、保険サービスそしてその他の医療支援サービスへのアクセスができるのである。

同社はまた、タイの領事局と協力して、海外に住むタイ人に医療相談を提供し、パンデミックの最中でも自宅から世界クラスの医師と繋いだ。更にこのプラットフォームは、30 を超える JCI 病院においてタイでの治療のために世界中から訪れた医療観光客を支援している。

「タイにおいてプラットフォームを通じて利用できる何百人もの専門医達は我々の最大のリソースだ」と Panoi 博士は言い、ドクターAtoZ は更なる国際的なプレゼンスの拡大を検討しているのだと付け加えた。

ドクターAtoZ は BOI の支援を受けており減税やその他のインセンティブを与えている。同社はまた、主要な従業員、スタートアップ起業家そして投資家がスマートビザを申請することができ、彼らが国内で最長 4 年間労働、滞在するのを可能にしている。このような支援は大勢の起業家や投資家がタイに注目している理由のたった一つにすぎない。

疫病の世界的大流行は全ての国に課題だけをもたらしたのではなく機会も生み出した。タイはその回復力を持ってこの未曾有の状況に真っ向から立ち向かっているのだ。同国はデジタル技術を利用して遠隔医療サービスの拡大およびその改善を通じて医療投資とイノベーションを推進するべくより快適なビジネス環境を創造してその高度な医療インフラを次のレベルに引き上げながら新たな環境に適応しているのだ。

タイ投資委員会の詳細については、[ここ](#)をご覧ください

\*この記事広告は <https://www.reuters.com/article/sponsored/thailands-medical-sector-resilient-in-the-face-of-the-pandemic> から翻訳されています